

スポーツ課の取組み

1 旭川市スポーツ推進計画（R 5～）

全ての市民が、自らの関心や適正、健康状態に応じて、生涯にわたりスポーツに親しむことができるような環境づくりを目指すとともに、スポーツ活動を通じた交流を促進し、まちを活性化させることを目的とし令和5年3月に策定した令和5年度～令和9年度までの5年間の計画です。

重点1 スポーツの機会創出と充実

1 全ての市民がスポーツに触れることのできる環境づくり

（4）パラスポーツの推進

パラスポーツ団体、市、教育委員会などが連携し、障がい者が気軽に参加できるよう必要な情報の提供や教室の開催など、様々な形でスポーツに取り組む機会を提供します。また、障がい者と障がいがない者とが共に活動できるスポーツの実施や機会創出及び地域における環境づくりを支援します。

重点2 スポーツ環境の整備

1 スポーツ施設の整備

（1）スポーツ施設の老朽化対策 ②施設のアクセシビリティの向上

年齢・性別・人種・障がいの有無などに関わらず、誰もがスポーツしやすい環境づくりを目指すため、バリアフリー化、公平なサービス提供、ユニバーサルデザイン化など施設のアクセシビリティ向上を検討します。

重点 3 スポーツの担い手の育成と連携の推進

1 スポーツの担い手による活動の推進

(5) パラスポーツ指導員の活動促進

障がいの特性に応じたスポーツ指導を行うパラスポーツ指導員について、関係団体と連携し、活動を促進します。

重点 4 スポーツ交流などによる地域活性化の推進

1 スポーツ大会・合宿等の誘致推進

(1) 合宿誘致の推進

競技団体や関係団体と連携し、日本代表や大学などの国内トップレベルの団体の合宿誘致のほか、オリンピック・パラリンピック等の事前合宿誘致を推進します。

数値目標

障がい者のスポーツ実施率 「令和4年度 36.5%」から「令和9年度 50%」へ

※スポーツ実施率・・・週1回以上スポーツを行っている成人の割合

※参考：国の計画では「令和3年度 31.0%」から「令和8年度 40%」を数値目標としています

2 バイスキー・シットスキー等の貸出し（R 3～）

小中学校のスキー授業などで使用するため、障がい者用のスキーを貸し出します。

用具名	説明	台数	令和4年度実績	備考
バイスキー	ゲレンデ用2本足	5台	延べ17名	チャイルド1台 ジュニア3台 アダルト1台
チェアスキー	ゲレンデ用1本足	1台	—	上級者向け
シットスキー	歩くスキー用2本足	6台	延べ16名	体験用5台 重度障害者用1台



バイスキー



チェアスキー



シットスキー

3 旭川マラソンへの車椅子の参加（R5～）

旭川マラソンの4種目（ハーフ、10km、3km、ファミリーラン）のうち、車椅子での参加はファミリーランのみでしたが、今年度からハーフを除く全て種目に参加できるようにします。

4 市民スポーツの日の見直し（R5～）

今年度から障害者関係団体と連携し、市民スポーツの日にパラスポーツイベントの実施を検討します。

5 パラスポーツの合宿等の誘致

合宿名	延べ参加人数	合宿期間
パラノルディックスキー合宿	192名	5・6・8・1・2月の計5回 各2～6日間程度
日本パラパワーリフティング連盟 旭川オープン合宿	96名	2月23日～2月26日

※コロナ禍のため令和4年度の実績のみ記載。